

2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表調査
 直接処遇職員7名 調査日 2024.3.1～3.10

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	備考
施設・設備の整備	① 利用定員は、指導訓練室などの面積との関係で適切であるか	4	3		・法的には問題は無いが運動できるスペースがあると良いと思う ・まだ勤務して間もないため詳しい事はわかりません
	② 指導員の配置人数は適切であるか	4	3		・規定上は2名だが現在6名を配置。しかし、一人ひとりの子どもの気持ちを理解し、くみ取ろうとすると今年度は7名体制が理想であった ・人員が増えれば、もっと子どもとじっくりと関われると思う
	③ 子どもにとって危険がともなうような、施設や備品の損壊・故障などはないか	6	1		・その都度、修理をしている ・環境整備に心がけている
	④ ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか	5	2		・リフォームにより割れないガラス等の対策を行った
	⑤ 子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか	7			・侵入を防ぐ特別な対応はしていないが進入口(玄関)は狭く入りづらい構造 ・子どもに目が行き届くよう担当制をしている
活動の全体状況の整備	⑥ 倫理綱領の策定、虐待防止委員会の設置、虐待防止責任者の選定をしているか	5	2		・担当者を決め行っている ・新人職員には委員会設置について周知していなかった
	⑦ 虐待防止マニュアルを策定するとともに、虐待を防止するための研修を行なっているか	6	1		・12月18・19日虐待防止委員会の一環として行う ・3月より勤務の新人職員には書面にて指導を行った
	⑧ 防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか	6	1		・春と夏に火災と地震を想定した訓練を行っているが新人職員は未経験のため春休みに計画している
	⑨ 感染症予防マニュアルを策定しているとともに、感染症を予防するための研修を行なっているか	6	1		・2月に研修を行った ・3月より勤務の新人職員には書面にて指導を行った
	⑩ 個人情報保護指針を策定しているとともに、個人情報の取り扱いに十分に配慮しているか	7			・策定している ・職員の契約時に誓約書を取っている。

	⑪	子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか	7			・毎日のミーティングにて報告し、ヒヤリハットを記入している
	⑫	食物アレルギーのある子どもには、保護者の指示にもとづいて対応しているか	7			・職員に周知し、対応している
	⑬	子どもの活動の記録を書いているか	7			・丁寧に記録している
実践的な力量の向上	⑭	子どものことがわからないと感じたとき、早わかりしようと思わず、(どうしてなのか)と、自らに問い続けているか	6	1		・わからないまま保留し考え続ける ・その時は早わかりしてしまっているが記録を記入するときや職員会議で振り返っている ・わからない事は、他の職員に聞いている
	⑮	子どものことがわからないと感じたとき、傍観するのではなく、働きかけて変化をつくりだし、理解しようとしているか	5	2		・関わり方に変化をつけながら表情などを観察している ・見守りと働きかけの両方の視点を持ち関わるときはそうして変化を作っている
	⑯	子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか	7			・毎月の職員会議や活動前のミーティング、送迎の帰りなどコミュニケーションに心がけている ・常に他の職員に尋ね意見が正しいと思う時、自分の意見が流れてしまう事がある
	⑰	子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか	5	2		・していると思われるが問題行動と受け止めるか否かが難しい ・何か変わった事があった時はどうしてだろうと考えるようにしています ・表面的な行動に振り回されないようにしている
	⑱	子どもの“問題行動”に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか	5	2		・咄嗟の時には難しいと感じている ・振り返り、考えている
	⑲	子どもの表面的な事がらを並べるのではなく、働きかけて、肯定的な事実をつくりだし、それを意味づけようとしているか	4	3		・事実と事実を繋ぎ合わせて考えるようにしている ・子どものきらめく瞬間があった時の関りを繰り返し働きかけ、発達と結びつけて意味付けを考えている
	⑳	気持ちの育ち(人格の形成)には、その子固有のテンポがあるということを押さえて、子どもを理解しようとしているか	6	1		・その子に合わせ、他の子と比較しない ・会議で話し合い理解を深めている ・出来る、出来ないで捉えないようにしている
	㉑	子どもの発達を、ひたすら前進するのではなく、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか	6	1		・前進できたことで辛くなる場合があることを想像する ・行きつ、戻りつを知識として経験として分かっている ・わかる事で悩みや苛立ちが湧いて来るのを見て来た
	㉒	学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか	7			・下校時の引き取りで丁寧に聞き取り、その子の様子を理解している ・学校は頑張る所と意識している子ども達であることを見学会などで知る ・行事前などは特に活動内容やおやつに工夫を重ねることを考えている

	⑳	大人の目の育ちに応じてしか子どもは見えてこないという、自省的な意識をもって、子どもを理解しようとしているか	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・学習を重ねることで子どもの見方が違って来たと感じている ・自身の見解の幅を広げられるよう学習を積み重ね様々な角度から子どもを見ていきたいと思う
	㉑	遊びや生活をつうじて、子どもの気持ちの育ち(人格の形成)をはかっていくことを意識して、子どもに働きかけているか	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・そのように関わっているが自信が無い ・卒後の生活を想像し、特に人との良好な関係作りを目指している ・人との関係作り、おりあい、興味関心を広げられるよう努力している
	㉒	子どもの育ちの状況を確認、保護者の意見も聞いて、個別支援計画書を半年に1回は見直し、作成しているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の全体会議で検討し行っている ・保護者の個人面談で丁寧に聞き取るよう心掛けている
	㉓	会議や研修会を定期的に行っていて、子ども理解や実践などについて深めたり、学習したりしているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議で子どもについて学び合っている ・外部、内部研修会を行っている
	㉔	子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・リモートを活用し全国の仲間と実践検討会を開催している ・埼玉放課後連及び全国放課後連及び、その他の様々な学習会に参加している
保護者との関係づくり	㉕	子どもが入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明しているか	6		1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者および児童発達責任者が責任をもって行っている ・勤務して間もないため、まだ、入会には関わっていません
	㉖	保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・表面的な言葉の裏にどんな願いがあるのか子どもの様子からくみ取る ・保護者がどんな思いで話してくださったかを想像している ・表面的な言葉のみで判断していない
	㉗	保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取っているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、保護者からじっくりとお話を伺う個人面談を開催 ・事業所のお迎えや自宅送り時にも会話を大切に尋ねている
	㉘	保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたより ・送迎時の報告や連絡帳 ・必要があればラインや電話
	㉙	保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、送迎時、電話、ライン等、様々なツールでいつでも応じている ・内容に応じて職員会議で共有し相談する
	㉚	会報などを定期的につけて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりしているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたよりで個々の子どもの様子を伝えている ・学校行事や学校役員会などで、我が子以外の子どもの様子を伝えあってくださいている
	㉛	苦情などの意見が寄せられたときは、懇切に対応し、改善策をすみやかに伝えているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は苦情を発しにくい事を念頭に置き、苦情になる前に職員で話し合っている ・迅速に毎日のミーティングで共有し検討している

	③⑤	保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくっているか	2	3	2	・以前は保護者会を行っていたが、コロナ渦以降、学校参観日が学部別に分かれてしまい開催することが難しくなった
	③⑥	親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか	2	3	2	・以前はバス遠足やバーベキュー大会等を開催していたが、コロナ渦で開催を中断している。次年度は開催したいと思っている
関係者・関係機関との連携	③⑦	障害児相談支援事業所の担当者と連絡を取っているか	5	1	1	・モニタリングなど丁寧に対応しているが、相談支援事業所とは複数関わっているが、まったく連絡が来ない事業所もある
	③⑧	学校の年間計画、行事、下校時刻、送迎の方法などを確認しているか	7			・学校から事業所への一斉メール、学校おたより、引き取り時の掲示板閲覧 ・保護者からの情報収集を行っている
	③⑨	学校の行事などに参加して、学校での子どもの様子を把握しようとしているか	6		1	・コロナの影響があり、運動会、文化祭、バザー等は外部参加が出来なくなった ・今年度よりようやく学校見学会が開催されパートを含め出来るだけ参加している
	④⑩	学校と支援会議などを行なって、子どもについて意見の交換を行なっているか	5	2		・毎日の学校お迎えで担当者が直接引き取り、担任の先生と意見交換を行っている ・保護者からの要望により、いつでも必要な時に行っている ・学校コーディネーターともっと話せたら良いと思う
	④⑪	協力をしてもらえる医療機関と協定を結んで、子どもの病気やケガなどに関する緊急の事態に対応できるようにしているか	6	1		・医療機関と協定を結んでいる ・救急時の行動指針を壁に貼っている
	④⑫	学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡を取っているか	4	3		・必要に応じて保護者の許可を得て行っている ・相談支援事業所と連携している
	④⑬	地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか	3	4		・必要に応じて近隣の方へ挨拶に伺っている ・長く、この地域で活動しているので、日頃の挨拶など心がけている ・近くの公園では近所の子ども達と一緒に遊びの仲間に入れてもらうことがある
	④⑭	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報を共有したり、活動に協力したりしているか	5	1	1	・埼玉放課後連及び全国放課後連の役員を引き受けている

*新人職員1名は、2024年3月1日から本格的に勤務を始めたが、自己評価表調査を行った。そのため全体の質問に対し「わからない」という回答が多くなった。
この調査票は全家庭及び全職員にプリントにて配布する